

# ちょっと拝見！ MOKA の職場



同僚との打合せ



溶解したアルミニウムをかき混ぜる様子



アルミ缶のスクラップを運ぶ様子

株式会社 アムテック  
本社工場  
いまい つばさ  
今井 翼さん (30歳)

自身の技術向上に努め  
よき指導者になりたい



## 仕事内容を教えてください

当社はアルミニウムをリサイクルするため、使用済みのアルミ缶を溶解し、工業用材料にする事業を行っています。私は主にフォークリフトを使用した材料の装入や、専用の治具を用いて溶解炉内をかき混ぜる作業を担当しています。

## 入社きっかけは何でしたか？

小さい頃に社会科見学で工場見学をした際、工場の仕事に興味を持ったことがきっかけでした。特にアルミニウムを鋳造する作業に興味があり、自分でもやってみたいと思い入社しました。

## やりがいは何ですか？

班の全員でコミュニケーションを取り、協力しながら作業ができることにやりがいを感じています。また、後輩に指導ができる立場になり、自分自身の成長を実感しています。

## 苦労したことはありますか？

入社した当初は覚える業務が多く大変でした。各業務ごとに求められる知識が異なるため、同じ班の先輩方に教えてもらいながら覚えました。今は自分が教える立場となったため、相手が理解しやすい指導ができるよう日々試行錯誤しています。

## 社内の雰囲気はどうですか？

会社のイベントとして社員とその家族が対象のバスツアーが開催されるなど、とても雰囲気の良い会社です。班員同士の仲も良く、お互いが助け合える環境が整っています。

## 今後の目標を教えてください

先輩社員として新入社員と関わり、頼られる存在になりたいです。また、主にフォークリフトの作業が多いため、技術の向上に努めたいと思います。

会社プロフィール

（株）アムテック  
本社工場

【所在】  
鬼怒ヶ丘 16 番地 2  
【会社設立】  
平成 19 年 12 月

会社 HP

「CAN to CAN リサイクル」を主体とし、使用済みアルミ缶を溶解しアルミ缶に再生するための材料を供給する会社です。「地球の未来のために」という基本理念のもと、地元を中心に皆さまとの繋がりを大切に、温暖化への影響力が最も大きいCO2の排出量削減に貢献しています。

掲載希望の方は秘書広報課広報係へ  
TEL 83-8100 kouhou@city.moka.lg.jp

# あの日あそこ 第441回



かめた まこと  
亀田 誠さん  
(古山在住・75歳)



地域と共に、  
青春これからも

私は昭和26年、古山に生まれました。実家は農地と山林をあわせて5ヘクタール程になる農家で、両親と2人の姉、3人の奉公人に囲まれて生活していました。小学生のころから農作業の手伝いをしていて、特に田植えや稲刈りは家族総出で行っていました。

中学校を卒業すると、真岡高校に入学しました。吹奏楽部でホルンを担当し、県大会では金賞を受賞しました。

卒業後は商科大学へ行き、その後姉の勧めで当時の関東銀行（現筑波銀行）へ入社しました。最初こそ普通に働いていましたが、バブルのころは毎日日付が変わってから帰宅する時期もありました。その後本部勤務を任せられ、51



▲結婚式

歳からの9年間は、出向してオフィス家具や外車の販売を担当しました。

28歳の時に結婚し、高嶺の花と思っていた人が妻になりました。時に「美人薄命があるから大切にしてくれ」と冗談を言う明るい人でした。幸せな日々でしたが、結婚から28年後、妻はくも膜下出血で突然亡くなりました。辛くて悲しくて、人生で一番泣いた日でした。

定年退職後は、妻の供養のために100観音のお参りをしました。毎朝仏壇に手を合わせ、また妻の命日には毎年感謝と想いを込めたラブレターを贈っています。

現在は会社員時代になかなかできなかった地域活動に参加しています。古山サロンでピンゴ大会やカラオケ、手品などを企画したり、結婚相談員としては、積極的に相手に気持ちを伝えるためのアドバイスをしたり、誰かを喜ばせるために励んでいます。



▲趣味のサイクリング

今後とも一日一善、一生青春をモットーに、たくさんの方に挑戦しながら、地域のために明るく健康にがんばっていきたくです。



▲年に6回旅行へ

## 消費生活センターメモ No.513

フリマサービス（アプリ等）の利用は慎重に



**事例（購入者）** フリマアプリで時計を購入したら、写真と違う商品が届いた。

**事例（出品者）** 出品したブランドバッグがニセ物だと購入者から苦情があった。返品してもらおうと、違うバッグにすり替えられていた。

## トラブル解決は原則として個人間で解決する

インターネット上で個人同士が商品等を売買できる「フリマサービス」は、出品者と購入者との「個人間の取引」になるため、トラブルが起きた場合は、当事者間での解決を求められます。



【相談窓口】消費生活センター（くらし安全課内）  
TEL 0285-84-7830（ハナシテナヤミナシ）  
平日 9:00～12:00 13:00～16:00 ※相談料無料

## トラブル回避ポイント

- ① 利用規約（利用ガイド）をよく確認する  
事前取引ルールや禁止行為、補償があるかなどをよく読み、理解した上で利用する。
- ② 商品をよく確認してから「受取評価」する  
購入者が商品を受け取り、出品者を「評価」すると出品者に代金が支払われる。「評価」すると取引が完了するため、トラブルがあってもサポートを受けられない場合がある。
- ③ 「エスクロー」や「匿名取引」を利用する  
安全な取引をするため、運営会社が購入者の代金を一旦預かり、商品受領後に出品者に支払う「エスクロー」や、運送業者にのみ個人情報が開示される匿名取引を利用する。
- ④ 相手からフリマ外でやり取りを求められても断る
- ⑤ 当事者間で話し合っても解決しない場合は、フリマサービス運営事業者に協力を求める